

# 「自助・共助・公助」で災害に立ち向かう

市長短信  
H30年8月27日

## 1 市民協働で進める災害対策

### 自助・共助・公助とは

- 近年の自然災害には、これまでの経験やセオリーが通じない。
  - ・ゲリラ豪雨、時期やルートが想定外の大規模台風、大規模地震...etc
- 災害対策は、公的機関の力(公助)だけでなく、家庭(自助)や地域(共助)の連携が必要

### まずは「自助」のための行動を

- 「自分の命は自分で守る」という意識で「情報確認」「避難準備」「避難行動」を。
- 日ごろから災害時にどう行動するか確認しておく。
  - ・災害時の動きと、必要となる備蓄品等の備えを。
- 9月第1日曜日は「家族防災会議の日」
  - ・災害の発生時を想定して家庭内で確認を。



### 糸島市の「共助」

- 「共助」の要、自主防災組織
  - ・糸島市では、市内162地域に行政区単位で「自主防災組織」が設置されている。
  - ・各自主防災組織で「避難対応マニュアル」を作成
    - 連絡体制、避難行動、避難場所、避難経路、危険箇所について掲載
  - ・防災訓練を通して、要支援者の見守り等の申し合わせを行っている。
- 地域の防災訓練・防災講座
  - ・行政区毎に、自主防災訓練等を実施
  - ・ボランティア団体「糸島市防災士会てまがえ隊」による地域防災リーダー養成講座
  - ・「災害リスクコミュニケーション」により、地域独自の防災計画・防災マップ作成
  - ・今年度から、大規模災害を想定した「校区避難所運営訓練」を実施
    - 9月8日(土)深江校区で避難所運営訓練を実施

### 【自主防災訓練等の実施状況】

年度	実施回数	
	防災訓練	防災講座
H26	69回	42回
H27	66回	56回
H28	85回	57回
H29	75回	33回

# 「自助・共助・公助」で災害に立ち向かう

## 2 校区避難所運営訓練を実施

### 避難所運営訓練とは

- 災害の大型化・長期化に伴い、避難所運営のあり方が非常に重要になっている。
  - ・ 要支援者、高齢者、女性、乳幼児等に配慮した避難所運営
  - ・ 長期化する避難所生活での衛生・健康管理...etc
- 地域住民主体の避難所運営をめざして、行政と地域が連携して実施
  - ・ 設備の設営、炊き出し等、運営に関する訓練
  - ・ 要配慮者への支援に関する訓練
  - ・ 感染症予防等、健康管理に関する訓練 など

### 【深江校区避難所運営訓練】

- 市内で初となる校区単位の避難所運営訓練  
今後、全校区で順次実施していく
- 日時：平成30年9月8日（土）9時から
- 場所：二丈中学校体育館 ほか
- 参加：自主防災組織役員、地元小中学校の児童・生徒
- 概要：行政と地域住民等が連携した実働訓練（右表参照）  
防災意識の高揚・地域防災力の向上を図るとともに、コミュニティスクールの取組として、学校と地域が一体となった活動を行う。



### 【訓練スケジュール】 自主防災役員・二丈中学校生徒

時間	訓練の流れ
9:00	集合：行政区長（自主防災会長）、二丈中生徒 概要説明 避難者受付準備 避難所使用スペースの確保 避難所運営本部設置 体験コーナー準備 炊出し訓練準備開始（炊出し班）
10:00	自主防災役員集合（避難者受付訓練）
10:15	全体説明会（あいさつ、全体説明、その他）
10:30	（避難所運営体験コーナー） グループに分かれて体験 A：避難所生活体験（段ボールベッド、簡易トイレ等設営） B：避難所健康訓練（車中泊・感染症予防等） C：要配慮者体験（車椅子・高齢者キッド等） D：九州北部豪雨災害展示コーナー（九州大学） E：津波体験コーナー（九州大学） F：炊き出し訓練 G：防災グッズ展示コーナー
11:45	炊き出し訓練試食（カレー）
12:15	総評・閉会あいさつ

### 【訓練スケジュール】 深江小学校児童

時間	訓練の流れ
9:30	防災学習（A：1,2年生、B：3,4年生、C：5,6年生）
10:45	避難所運営訓練見学